

のびのび学習だより

表現する力の育成をめざして

今年度から、国語科・算数科を窓口に、主体的に学び、自分の思いを伝え合う子どもの育成をめざした授業改善を研究しています。滋賀県では、『学ぶ力向上滋賀プラン』を掲げ、各学校で3つの視点から「学ぶ力」を向上する取組を行うよう進めています。多賀小学校でも、その視点に基づき、児童の実態に沿った学習を教員で考え、実践していきます。

☆4年算数科『わり算マスターになろう!!』

2けたの数でわる計算の方法について考えました。



意見交流



自力解決



全体交流

まとめ・ふり振り返り

意見交流では、自分の考えたことを近くの友達に話します。友達と交流していくことで、自分の考え方が深まったり、広がったりします。そして、自分の考えを構築し、記述します。

学習のまとめとして、最後に練習問題に取り組みます。
(適用問題)

第2期 学ぶ力向上滋賀プラン

「学ぶ力」向上の3つの視点

各地域・学校の状況にあわせ、子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図り、「読み解く力」の育成に重点を置いて、3つの視点から「学ぶ力」を向上する取組を進めましょう。

学ぶ力

視点1

学びを実感できる 授業づくり

子どもたちが、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、その知識・技能を活用して課題を解決する力を身に付けるためには、子ども一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、その状況に応じた指導の充実を図ることが大切です。

<具体的な取組例>

- 子ども一人ひとりの学びの状況に応じた指導の充実
- 基礎的・基本的な知識・技能の指導の徹底
- 身に付けた知識・技能を活用して課題を解決する学習の充実
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 家庭・地域と連携した生活習慣や学習習慣の定着を図る取組
- 学校図書館の活用などによる読書の充実



視点2

学ぶ意欲を引き出す 学習集団づくり

子どもたちが、自分の考えや思いなどを、安心して表現できる人間関係を築き、その中で豊かな人間性を育成するために、思いやりをもって関わり合い、互いの違いを認め、高め合える、学びに向かう集団づくりが大切です。

<具体的な取組例>

- 互いの違いを認め合い、自分の考えや思いなどを安心して表現できる学級経営
- 子どもの自己決定の場をつくるなど、生徒指導の機能を生かした活動の充実
- 基本的な生活習慣、学習規律の指導の徹底
- 学級活動や児童会・生徒会活動などの児童生徒の自治的な活動の充実
- 思いやりの心を育む道徳教育の推進
- 体験活動を通じた豊かな人間性や人間関係を築く取組の充実



視点3

子どものために一丸となって取り組む 学校づくり

各校の状況に応じた学ぶ力を向上する取組を、学校全体で組織的に実践するためには、管理職のリーダーシップのもと、全ての教員が、課題やビジョンを共有し、PDCAサイクルにより取組を着実に推進することが大切です。

<具体的な取組例>

- 学校全体で組織的に実践する取組の推進
 - ・ 学校における取組の推進組織を明確にし、その組織により継続的に取組を推進する。
 - ・ OJTを取り入れながら、全ての教員の指導力向上を図る。
 - ・ 取組の重点を明らかにし、PDCAサイクルにより継続的に取組を改善する。
 - ・ 全国学力・学習状況調査などの結果を分析し、改善すべき課題に取り組む。
 - ・ 子どもに付けた力を明確にし、校内研究を計画的に実践する。
 - ・ コミュニティ・スクールなどを活用した取組を推進する。

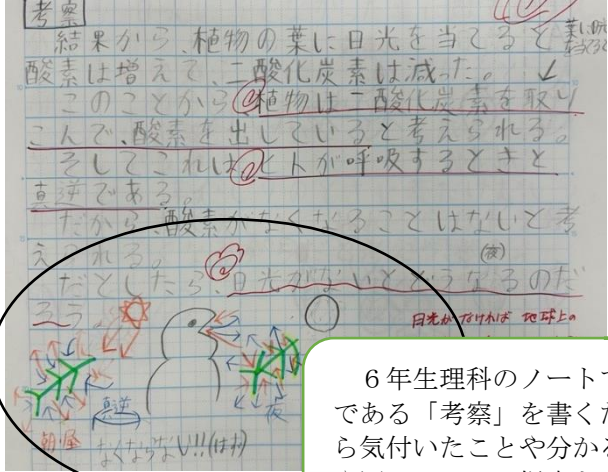
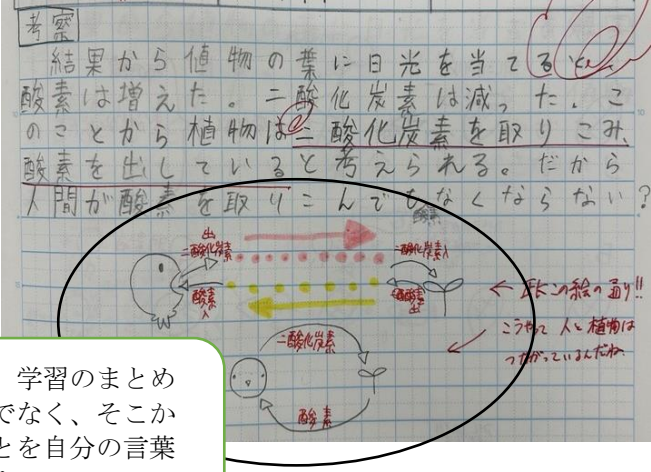
○ 中学校区を単位とした取組の推進

- ・ 9年間で付けた力を意識し、小中学校で系統的に実践に取り組む。
- ・ 小中学校教員が互いに授業を参観し、目指す児童生徒像を具体的な姿で共有する。
- ・ 小中学校教員が合同研修会で交流し、互いの指導力向上を図る。
- ・ 小中学校教員のチーム・ティーチングを実施し、教科担任制への滑らかな接続を図る。



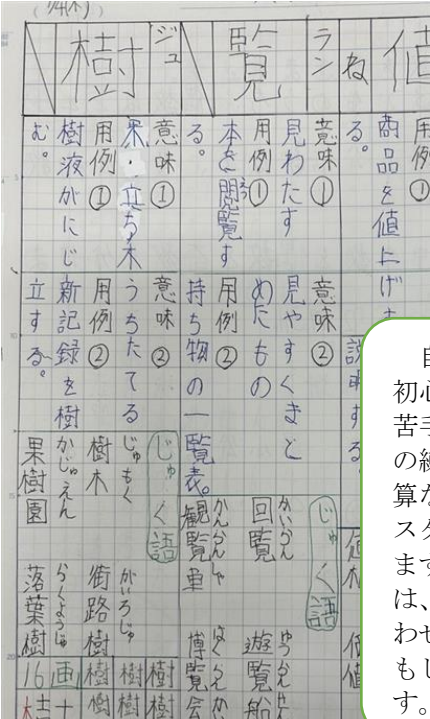
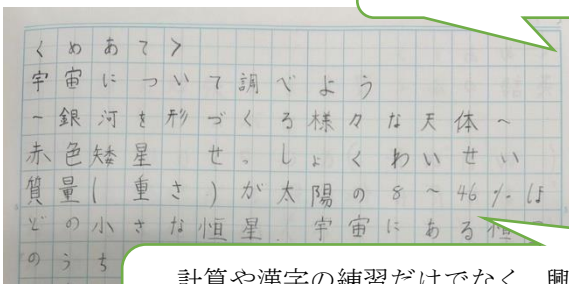
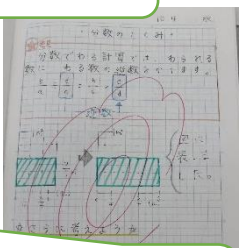
子ども自身が自分の学習を見直し、改善していく力。このような力をつけていくためには、学校の授業とともに家庭での学習習慣の定着が欠かせません。そこで今年度も多賀中学校の定期テスト前の期間を『家庭学習がんばろうウィーク』として宿題や自主勉強を計画的に行う強化週間にする予定です。ご家庭でもお声かけしていただくなどご協力をお願いいたします。(後日お便り配布します。)学校のノートや家庭学習のノートを紹介します。

☆学校ノートの紹介

6年生理科のノートです。学習のまとめである「考察」を書くだけでなく、そこから気付いたことや分かることを自分の言葉や図にしている児童もいます。

☆自主勉強ノートの紹介

図や絵を取り入れてわかりやすくまとめ、復習しています。

計算や漢字の練習だけでなく、興味のあることについて本や参考書などの図書資料や新聞などで調べたことをもとに自主学習し知識を広げることも・・・。

自主勉強
初心者、苦手な漢字の練習や計算などからスタートします。計算は、答え合わせと直しもしています。

「めあて」や「まとめ」を書いています。学習したことを振り返り、まとめ直しています。

低学年はまず、家庭学習に丁寧に取り組み、学習習慣を確立することが大切です。中・高学年は、自分自身の学習を振り返り、苦手な内容や授業で習った内容を練習することや、復習・予習など計画的に学習を積み重ねることが大切です。また、興味のあることを探求することもおすすめします。自分自身で学習する力は簡単に身につくものではありません。『継続は力なり』です。